



2005 年度第 8 号

やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校 理事会通信

2005 年度理事選挙

前号のやまなみで報告しました通り、2005 年度の理事選挙が行われます。選挙委員会は、安俊弘、金井田智久、佐藤隆志、野原裕史（理事 2 年につき退任予定）と田附富雄（総領事館理事）（敬称略）の現職理事 5 名です。選挙委員会から告示が出ましたのでご報告します。なお、立候補の資格や手続きにつきましては、補習校ホームページ (<http://sfjlc.org/gaiyou/kisoku.htm>) の「選挙実施細則」をご参照ください。

2005 年 12 月 3 日 理事選挙選挙告示第 1 号

選挙委員会 委員長 田附 富雄

サンフランシスコ日本語補習校理事選挙実施細則第 3 条の規定に基づき、選挙委員 5 名の互選により、田附富雄が委員長として任命されました。

2005 年 12 月 3 日 理事選挙選挙告示第 2 号

サンフランシスコ日本語補習校定款第 14 条（理事会の選任）及びサンフランシスコ日本語補習校理事選挙実施細則（以下「選挙実施細則」といいます。）の規定に基づき、下記のとおりサンフランシスコ日本語補習校の理事選挙の実施を告示します。

記

1. 選挙方法：サンフランシスコ日本語補習校の保護者会員（一家庭単位）及び法人会員のうち評議会会員の郵送による直接無記名投票により候補者の中から選出します。
2. 投票期間：2006 年 1 月 27 日（金）～ 2 月 18 日（土）
3. 開票日：2006 年 2 月 18 日（土）
4. 選挙による選出される理事の定数：10 名
5. 候補者の届出：理事の候補者になろうとする者は、理事会または会員 8 名の推薦の署名を添え所定の用紙に記入のうえ、2005 年 12 月 15 日から 2006 年 1 月 14 日までの期間に、当委員会に届け出なければなりません。
6. 無投票当選：前記 5. による理事の立候補者が前記 4. の定数を超えないときは、その理事については選挙実施細則第 15 条の規定によって無投票当選とします。

サンフランシスコ日本語補習校 選挙委員会
委員長 田附 富雄

補習校理事って？ (松波千春理事)

今年度、サンノゼ保護者会から理事会に参加させていただきました。今回、私が参加してきた理事会を、皆様にご紹介しようと思います。

皆さんご存知のように、理事会はボランティアで構成されています。保護者会から 4 人・総領事館から 1 人・選挙で 10 人です。お子様が補習校に通っている方もいらっしゃるれば、いらっしゃらない方も参加しています。様々な立場の人が集まり、いろいろな角度から検討し、補習校を良くして行こうと活動しているわけです。

理事会の中にはいろいろな委員会があり、その委員会の中での活動です。年間目標を立て、実施、評価などを繰り返していくわけです。しかし、理事会自体は、たった 6 回しかないのでメールベースのやり取りが多くなります。会議のようなきちんとしたメールが飛び交う中に、私の“おちゃらけたメール”が横入りするわけです。それでも、こうやって理事会に参加させていただけるのは、皆さんの懐の深さでしょうか？

今回理事会に参加して感じたのは、「まあ、何でもこなす集団だな！」ということ。財務管理から、人事、システム立ち上げ、高等部運営など“何でも屋”状態です。こう言うと聞こえは悪いですが、裏を返せば、誰にでも自分を生かせる場所があるということです。私の場合、「声がでかい！」というのが唯一の取り得ですので、理事会企画の実施段階に携わることができました。

また、理事会の活動は学校の方針にかかわるもの、人事にかかわるものなど、とても大きな責任が伴う内容が含まれます。一人の理事の方に、「ボランティアなのに、よくそこまでやりますね！」と尋ねたところ「ボランティアとして、自発的に買って出たからこそやるんです！」と。「目からうろこ」状態です！だから、このような理事としての重責を担っていくことができるのですね。

補習校という、大きな船を操縦している理事会は、このようなボランティアの方で成り立っています。「何かやってみたい」方には、絶好の場所だと思います。来年度、皆さんの個性、経験、知恵、そしてなにより「補習校を大切に思う気持ち」をこの理事会で生かしてみませんか？

将来像委員会意見交換会 (村山斉理事)

将来像委員会では収集してきた情報と 10 月のアンケートをもとに補習校の将来像を模索してきました。これまでわかったこと、今まで考えて来たことを保護者の皆さんに報告し、更にアンケートよりも踏み込んで皆さんの意見を伺う意見交換会を小学部 SF 校で 11 月 5 日、小学部 SJ 校で 11 月 19 日に持ちました。どちらも 40 名ほどの参加があり、活発な意見を伺える充実した会を持つことができました。

まず委員長として私が今までの話し合いの内容を報告しました。プレゼンはこちらでご覧下さい：

<http://hitoshi.berkeley.edu/misc/shouraijouzou-presentation.pdf>

報告と頂いた意見の主な内容をまとめます。

- 今生徒数が減っているのは、日本からの駐在員が減って来たための自然減と考えられること。
- 今後派遣教員の数が減ることはおそらく避けられないこと。
- 最初の心配に反して、魅力がなくなったための「補習校離れ」は余り見られないこと。
- 補習校に求められているものはもちろん日本の教育を行うこと。それに次いで、様々な背景を持つ子供たちが幅広く交流できること、日本の学校のような行事があること、塾や語学学校ではなく集団生活を経験できること、など。

- 生徒の6割は永住権・米国籍をもっていること。
- 「帰国対応」のための教育を前提として文科省・外務省から援助を得ていること。
- 一方委員会としては、補習校は当面の帰国の予定がない子供にも日本の教育・学校生活を体験してもらい、バイリンガル、広い視野を目指したいこと。
- しかし国語力に大きな差があり授業がやりにくくなっているため、委員会としては科目によっては目的別クラス編成の導入を考えていること。
- 算理社などを選択にしたい希望があったが、国語力を育てるには国語の時間だけでなくいろいろな科目や行事を通じて総合的に考えないといけない、また時間割の関係で選択にしても間が空いてしまったり却って厄介なことになりがちなこと。
- 幼稚部は早くから国語教育をするために価値があり、また需要はかなりあること。
- 補習校でも岩崎校長による個人的な、進路相談や帰国子女受け入れ校についての説明会、全国標準学力テストの実施などはできること。
- 1,2年生については高学年が終わるまでの間宿題を見たり遊んだりする時間を有料で提供する可能性はあること。
- 子供の課外活動は学校では施設・時間・雇用の関係でサポートできないが、保護者間の連絡を助けて有志で活動するのは応援できること。
- 委員会としては補習校で正式な単位を出せるようにWASC (<http://www.acswasc.org/>)の認可を受けられるよう働きかけたいこと。

理事長への最終答申は12月8日の予定です。それまでご意見はどしどし shourazou@sfjlc-hogoshakai.org まで。

サンノゼ校保護者会より 寄付

SJ保護者会より、教材費として役立ててほしいとのことで、小学部SJ校に\$300、中・高部SJ校に\$200を頂きました。使途につきましては、両教頭先生に相談し、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

恒例の借用校訪問 ホリデーギフト

12月1日、学校長、教頭、事務局長、さらに、保護者会から村山代表会長、シェルスギ会計が、サンフランシスコ校の借用校である A.P. Giannini 校と Herbert Hoover 校を訪問し、平成18年度4月から集中学習前までの契約を済ませました。また、この日は、恒例のホリデーシーズン挨拶も兼ねており、補習校から、借用校校長先生以下スタッフへのギフトを手渡し、保護者会からも借用させていただいている各教室の担任教員宛にギフトカードを贈りました。さらに岩崎校長からは、日本から教え子を通して取り寄せたという大相撲のカレンダーも手渡され、大変好評でした。それぞれ借用校の校長先生から謝意が述べられ、今後も変わらぬ友好関係を約束してくれました。12月14日には、サンノゼ地区の借用校を訪問する予定です。

人事異動

退職 小S J教員 斎藤順子 (11月19日付)

採用 小S J教員 坂本真琴 (12月3日付)

事務局よりお知らせ

12月、1月の主な行事予定

月	日	行事予定
12	3	オープンハウス (小学部SF校にて)

12	3	高等部入学保護者説明会 (SF校・SJ校)
12	10	中学部SF校学校説明会
12	17	中学部SJ校学校説明会
12	26	クリスマスデー振替休日
1	14	小学部SF校学校説明会
1	21	小学部SJ校学校説明会
1	28	小学部新1年生面接

平成18年度新1年生の入学受付について

サンフランシスコ日本語補習校では、平成18(2006)年4月から小学部1年生に入学を希望する児童についての入学願書受付を12月1日から開始いたしました。入学を申し込まれる方は、本校事務局までご連絡ください(415-989-4535)。

【出願資格】

保護者が当地での職務に派遣される者、または、理事会が承認する者で、将来日本の学校に入学・編入しようとする計画を持っている満6歳以上7歳未満の者。なお、平成18年度の小学部1年生は平成11年(1999)年4月2日から平成12年(2000)年4月1日までに出生した児童に限ります。

【学校説明会】

入学希望児童及び保護者を対象として、学校説明会と新入生面接を次の通り実施いたします。

小学部サンフランシスコ校	小学部サンノゼ校
学校説明会 1月14日(土)	学校説明会 1月21日(土)
新入生面接 1月28日(土)	新入生面接 1月28日(土) 2月4日(土)

【面接内容】

- (1) 自分の名前を言える、ひらがなで書ける。
- (2) ひらがなが読め、その言葉が絵と結びつく。
(はさみ、さかな、とけい、ねこ、あり等)
- (3) 日本語で意思の疎通が図れる。
- (4) 教師の指示が聞き取れ、それに従える。

【入学申し込み方法】

入学申込書と出生を証明するものの写し(パスポートのコピー等)を同封の上、本校事務局までご送付ください。なお、説明会と個人面談の案内につきましては、入学を申し込まれた方に郵送にてご案内いたします。*本校ホームページ(<http://sfjlc.org>)をご参照下さい。

休曜日のお知らせ

12月29日から来年1月3日まで、年末年始休暇のため、事務局はお休みとなります。また、12月24日及び31日は休校です。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。
発行人：浅尾一郎
San Francisco Japanese Language Class, Inc.
760 Market Street, #816, San Francisco, CA 94102
電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542
電子メール：理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com
ホームページ：http://sfjlc.com
理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。
無断複製・転載を禁ずる。©2005 All rights reserved.